

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	基礎医学 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	月3・火3	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	2
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、基礎医学ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
医療関係従事者、医療界に關与する人たちは、基本的な解剖と、生理(身体の構造と働き)について十分な知識をもっていることが求められるため、解剖生理学に關連補足を取り入れ知識を深める。		No.	日付	授業内容				
		1	4/10	細胞・染色体				
		2	4/11	組織・神経系の区分				
		3	4/17	脳脊髄膜・中枢神経全体像・大脳機能局在・末梢神経・自律神経				
		4	4/24	眼球の構造・目の主な病気				
		5	4/25	耳				
		6	5/1	心臓(構造、働き、刺激伝導系、循環)心拍数と血圧				
		7	5/2	心臓復習・心臓の疾患・動脈と静脈				
		8	5/8	毛細血管・リンパ系・循環器テスト				
		2. 目標検定・資格	9	5/9	循環器テスト解説・血液の組成・血液成分・血漿・赤血球			
		医療秘書検定(メディカルサポートコース)	受験対象	10	5/15	血液(白血球 血小板 血液の凝固)		
		医薬品登録販売者(両コース)	全員	11	5/16	血液型・貧血		
		実施日	秘書11/5(日)登販 2024. 9	12	5/22	中間テスト		
3. 学習上の留意点		13	5/23	血液テスト・テスト解説				
授業は意欲的に参加し、解剖生理学部門は、ノートに取りまとめることが大切です。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。日常生活においても身体の各部分の名称や働きを意識する。		14	5/29	骨①(全身骨格など)				
		15	5/30	骨②(頭部の骨、椎骨、骨の疾患、関節)				
		16	6/5	筋系				
		17	6/6	腎臓・尿路の形態と機能・腎・泌尿器系の病態				
		18	6/12	腎臓テスト・内分泌系(フィードバック機構、視床下部、下垂体、甲状腺)				
		19	6/13	内分泌系(副甲状腺、膵臓、副腎、卵巣、精巣)				
4. テキスト		20	6/20	内分泌系の疾患・まとめ・内分泌テスト				
改訂 基礎医学(建帛社)		21	6/26	呼吸器系(解剖、構造と機能)				
		22	6/27	呼吸器系(疾患)、テスト				
		23	7/3	消化器系① 機械的消化と化学的消化				
5. 成績評価の方法・基準		24	7/4	消化器系②(胃 小腸 大腸)				
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		25	7/10	消化器系③ 消化腺(唾液腺、肝臓、胆嚢、膵臓)				
		26	7/11	口腔内の疾患、食道の疾患、胃の疾患				
		27	7/18	腸の疾患 肝臓の疾患 期末の対策①				
		28	7/24	生殖系系・まとめ				
		29	7/25	まとめ				
		30	7/31	期末試験				
		評価 試験						

科名	ICTシステムデザイン科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	就職支援		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	火1	301・201	
担当者	吉家 昭雄		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必須	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
以下の順で就職への心がまえをつくり、就職活動の準備をしていきます。  ①就職活動の前準備 自分を知る 就職活動に必要な基礎的能力を身に付ける ・基本的な職業理解 就職活動の概要を理解する 履歴書作成 ②職業・企業に関する情報を集める ③ 情報を分析する ④職 業を決定し会社を決定する	No.	日付	授業内容
	1	4/11	オリエンテーション EQと人間力
2. 目標検定・資格	2	4/25	職業観・就業観
	無	受験対象	
3. 学習上の留意点	3	5/2	求められる人材とは
	実施日		
4. テキスト	4	5/9	就活準備(企業研究・各種セミナー・合同企業説明会)ガイダンス
	5	5/16	職業理解1(事務)
5. 成績評価の方法・基準	6	5/23	職業理解2(医薬・IT関連)
	必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出  A総合評価 90点以上 B総合評価 70点以上、90点未満 C総合評価 60点以上、70点未満 D総合評価 60点未満→単位不認定	7	5/30
就職ノートファイル 必要に応じて関連資料・テキストを配布します。	8	6/6	適性検査対策WEBテスト / SHLテスト
	9	6/13	適性診断と適職を知る / キャリアデザイン
5. 成績評価の方法・基準	10	6/20	職業興味検査 / 価値観 / 適性テスト
	11	6/27	履歴書の書き方 / エントリーシートとの違い
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出  A総合評価 90点以上 B総合評価 70点以上、90点未満 C総合評価 60点以上、70点未満 D総合評価 60点未満→単位不認定	12	7/4	心理テスト / 自分を知る
	13	7/11	履歴書の作成 / 自己PRと志望動機
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出  A総合評価 90点以上 B総合評価 70点以上、90点未満 C総合評価 60点以上、70点未満 D総合評価 60点未満→単位不認定	14	7/18	履歴書の作成 / 学生時代のエピソード引用他
	15	7/25	面接試験の受け方
	評価 試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	コミュニケーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	火2	304	
担当者	野村 恵美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容	メディア出演や執筆、イベント司会などを通し日頃から「伝えること」に向き合う現役のフリーアナウンサーが、「聴き」「関わり」「より良く伝える」ための教育を行う科目						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>コミュニケーションとは、人に「伝える、聞く、関わる」働きかけです。学生、そして社会人として能力の基盤となるのは、その働きかけで人間関係を築く力「コミュニケーション能力」です。まずはコミュニケーションの基礎を理解し、アセスメントを使って自分の特性を知りましょう。そして様々な理論を参考に、コミュニケーション能力向上の手法を学びながら、これまでの自分の言動をふりかえり、自分のコミュニケーション能力や行動意欲を高めるトレーニングに取り組みます。企業や社会生活で、より良い人間関係を築いていけるように、自分らしい人とのかかわり方や適切な自己表現ができる力を身につけましょう。</p> <p>2. 目標検定・資格 なし 受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点 講義とグループワークを交えて「コミュニケーション」の構造の理解、向上のための手法を学びます。セルフワーク、グループワークを通じて、知識・テクニックのインプットとアウトプットを重ねる体感型の実践的内容となります。ワークには「話す」「聞く」「チームに協力・貢献する」態度で臨んでください。また授業中はもちろん、学内やプライベートでも、コミュニケーション能力を開発する意欲を持ちましょう。</p> <p>4. テキスト EQIアセスメント、EQハンドブック・ワークシート</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/11	オリエンテーション(授業目的)と自己紹介
	2	4/25	「EQI」(行動特性検査)受検
	3	5/2	記憶と感情の関係は？
	4	5/9	コミュニケーションとEQの関わりについて(松井T)
	5	5/16	「EQI」(行動特性検査)のフィードバック～自己理解と課題～(松井T)
	6	5/23	EQを開発してコミュニケーション能力を高める(松井T)
	7	5/30	相手を知ろう&話そう「THEインタビュー」
	8	6/6	より良いコミュニケーションはきっかけづくりから「共通点を見つける」
	9	6/13	話し上手は聞き上手「聞く・訊く・聴く」
	10	6/20	コミュニケーションの手段は言葉だけじゃない！「想像力と身体を使って…」
	11	6/27	自分ってどんな人？「第一印象」「ジョハリの窓」
	12	7/4	自分の思い、どこまで伝わってる？「コミュニケーション・ギャップ」
	13	7/11	語彙力を身につけよう「言葉に宿るチカラ」
	14	7/18	EQと言語
15	7/25	期末レポート	
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	医薬品 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			30	前期	水1・木3	302	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
			有	必修	講義	2	
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医薬品ほかについて教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>登録販売者とは、ドラッグストアや薬局などで、かぜ薬や鎮痛剤などの副作用のリスクが比較的低い一般用医薬品の販売ができる医薬品販売専門の医療系国家資格です。</p> <p>この公的な資格をクラス全員で合格を目指します。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	4/12	卒業生の進路状況、アスピリン、医薬品の本質			
		2	4/13	サリチル酸系解熱鎮痛成分、医薬品のリスク評価、健康食品			
		3	4/19	アセトアミノフェン、副作用			
		4	4/20	イブプロフェン、不適正な使用と有害事業			
		5	4/26	インプロピルアンチピリン、他の医薬品との相互作用、食品との飲み合わせ、小児への配慮			
		6	4/27	リソチーム、小児・高齢者・妊婦・授乳婦への配慮、医療機関で治療を受けている人等への配慮、プラセボ効果、医薬品の品質			
		7	5/10	セミアルカリプロティナーゼ・プロメライン 適切な医薬品選択と 受診勧奨			
		8	5/11	トラネキサム酸、薬害(サリドマイド、スモン、HIV)			
		2. 目標検定・資格		9	5/17	グリチルリチン酸、カンゾウ、薬害(CJD訴訟)第1章テスト	
		登録販売者	受験対象	10	5/18	第一章テスト解答 全身作用と局所作用 吸収について	
			全員	11	5/24	抗ヒスタミン成分 薬の代謝と排泄	
		実施日	2024年/9月	12	5/25	抗コリン成分 薬の生体での働き 内服薬と外用薬	
3. 学習上の留意点		13	5/31	アドレナリン作動成分 剤型ごとの違い、適正な使用方法			
<p>医薬品の知識、特に薬効などは正確に覚えるためにも反復学習は必ず実施して下さい。</p> <p>自身の専門性のやりがいや、楽しさを理解し把握する時期ですので、受講にあたっては、積極的な参加を希望します。</p> <p>指定の教科書は授業の際、必ず持参すること。</p>		14	6/1	麻薬性鎮咳成分 ショック 重篤な皮膚粘膜 肝機能障害...			
		15	6/7	非麻薬性鎮咳成分 偽アルドステロン症 抵抗力の低下 精神神経障害...細菌性髄膜炎...その他...消化性潰瘍...			
		16	6/8	気管支拡張成分 イレウス様症状 呼吸器系に現れる副作用 循環器系に現れる副作用...泌尿器系に現れる副作用...			
		17	6/14	キサンチン系成分 感覚器系に現れる副作用 皮膚に現れる副作用...中枢神経系...			
		18	6/15	去痰成分 神経問題			
		19	6/21	カフェイン 眼 鼻			
4. テキスト		20	6/22	解熱鎮痛薬復習 耳			
<p>登録販売者研修テキスト(薬事日報社ド・モ)プリント</p> <p>登録販売者過去問題集</p>		21	6/28	ジフェンヒドラミン塩酸塩 皮膚			
		22	6/29	抗炎症成分復習 骨 筋肉 循環器系(血漿まで)			
		23	7/5	循環器系 まとめ			
5. 成績評価の方法・基準		24	7/6	抗ヒスタミン成分復習 循環器系過去問題み合わせ 泌尿器系			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		25	7/12	フロムワレリル尿素 アリルイソプロピルアセチル尿素 呼吸器			
		26	7/13	抗コリン成分復習 口腔 咽頭 食道 胃 小腸			
		27	7/19	膵臓 胆嚢 肝臓 大腸 肛門			
		28	7/20	第2章 まとめ			
		29	7/26	期末まとめ			
		30	7/27	期末試験			
		評価試験					

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水2	301	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
			有	必修	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容	事務職経験が3年以上ある教員が、ビジネス実務について教育を行う科目						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>現代の社会や企業から求められるビジネス能力の養成をはかります。社会人として必要となる基本的な知識・マナーを身につけ、就職活動に対応できるレベルに加え、入社後すぐに活躍できるスキルの習得をめざします。</p> <p>自ら考え、行動できること、また「わかる」ではなく「できる」ようになるための実践的な講座です。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/12	働く意義	
	2	4/19	B検について 仕事の基本となる8つの意識	
	3	4/26	仕事の基本となる8つの意識	
	4	5/10	職場でのコミュニケーションの重要性	
	2. 目標検定・資格	5	5/17	ビジネスマナーの基本と就業中のマナー (身だしなみ、挨拶の基本姿勢)
	ビジネス能力検定3級	受験対象		
		全員		
	実施日	2024年1月試験週		
	6	5/24	指示の受け方と報告・連絡・相談	
	3. 学習上の留意点	7	5/31	話し方の基本 感じの良い言葉遣い
	授業はさまざまなグループワークを導入した展開とするので、積極的な参加が不可欠となります。まずは、理解した内容はグループ全員が共有できるよう教えあうことが大切です。クラスメイトとコミュニケーションを取ることで、自分の意見を伝えることを意識的に行ってください。	8	6/7	ポジティブ表現 質問力
	4. テキスト	9	6/14	聴く力 来客対応
	ビジネス能力検定3級ジョブパス公式テキスト2022年度版(日本能率協会マネジメントセンター)	10	6/21	来客対応のマナー、流れを知る
	5. 成績評価の方法・基準	11	6/28	訪問の基本マナー
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	12	7/5	会社関係でのつき合い	
	13	7/12	冠婚葬祭のマナー	
	14	7/19	期末テスト	
	15	7/26	自己分析、自己紹介文	
	評価			
	試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	医療概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	水4	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医療概論ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)	
1.目まぐるしく変化する医療の中で満足した職業意識を持ち続ける為に、自己啓発の心掛けと、幅広い医療・医学の知識を柔軟に受け入れ理解する必要がある。早期に職業観を持つ事を目的とする。		No.	日付
2. 病める人を単に病気だけでなく総合的に理解できるような医療従事者を目指すために、暖かく相手の身になって考える心が必要であることを理解し、病める人にとっての必要な医療とは何かについて学ぶ。		1	4/12
3. 医療施設・医療を支えている職種を知る		2	4/19
2. 目標検定・資格		3	4/26
医療秘書検定	受験対象	4	5/10
医薬品登録販売者	全員	5	5/17
実施日	秘書11/5(日)登販 2024. 9	6	5/24
3. 学習上の留意点		7	5/31
授業は意欲的に参加し、日頃から医療・医学に関わる話題などはチェックする。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。		8	6/7
4. テキスト		9	6/14
改訂 医療概論(建帛社)プリント		10	6/21
5. 成績評価の方法・基準		11	6/28
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試		12	7/5
A 総合評価 90点以上		13	7/12
B 総合評価 70点以上、90点未満		14	7/19
C 総合評価 60点以上、70点未満		15	7/26
D 総合評価 60点未満		評価	
※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		試験	
※追試については80%の点数をもって、C評価とする			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	化粧品 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	通年	木1	302	
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
			無	必修	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
化粧品の良し悪しを評価するのではなく成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。 間違えがちな化粧品や美容の知識のほか、皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方などを習得していきます。  医療機関やドラッグストアなど、就職後に活躍の幅を広げられるほか、自分自身の役立つ知識にもつながります。		No.	日付	授業内容		
		1	4/13	間違えがちな美容知識①		
		2	4/20	間違えがちな美容知識②		
		3	4/27	間違えがちな美容知識③		
		4	5/11	間違えがちな美容知識④		
2. 目標検定・資格		5	5/18	間違えがちな美容知識⑤		
1年次 日本化粧品検定3級 (2年次 日本化粧品検定2級)	受験対象 全員	6	5/25	皮膚の構造 表皮①		
実施日		7	6/1	皮膚の構造 表皮②		
3. 学習上の留意点		8	6/8	皮膚の構造 表皮③		
3級・自分の知識を正す 2級・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・化粧品の専門家を目指す 授業では2級の取得となりますが、希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができます。		9	6/15	皮膚の構造 表皮④		
		10	6/22	真皮のしくみ①		
日本化粧品検定2.3級対策テキスト 日本化粧品検定2.3級対策問題集		11	6/29	真皮のしくみ②		
		12	7/6	真皮のしくみ③		
5. 成績評価の方法・基準		13	7/13	真皮のしくみ④		
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする		14	7/20	日本化粧品検定3級受験		
		15	7/27	まとめ		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	パソコン基礎 I (Word)	回数	講義期間	曜日・時限	教室	
		15	前期	金・1	201	
担当者	坂口 和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
		有	必修	演習	1	
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
<p>業務においてWordとExcelは車輪の両輪として多く活用されています。</p> <p>本講義では、サーティファイのWord文書処理技能認定試験2級合格を目指します。2級は知識科目があるため、知識科目の対策はプリント学習で基本的に自習となります。</p> <p>パソコンの授業は、聴く力と練習量で確実に身に付きます。復習と入力練習を自己学習でも取組み、合格を目指してください。</p>		No.	日付	授業内容				
		1	4/14	サーティファイ検定試験概要 文字入力練習				
		2	4/21	文字入力練習 Word基礎確認(プリント)				
		3	4/28	文字入力練習 Word基礎確認(プリント)				
		4	5/12	文字入力練習 Word基礎確認(プリント)				
		2. 目標検定・資格		5	5/26	Word3級総合演習問題		
		Word 文書処理技能認定試験2級 (サーティファイ)	受験対象 全員	6	6/2	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter1		
		実施日	2023/8/4(予定)	7	6/9	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter2		
		3. 学習上の留意点		8	6/16	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter3		
		<p>1回、1回の講義内容が重要です。欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。テキストとUSB、筆記用具は必ず持参してください。</p> <p>なお、自宅での学習を並行すると学習結果が大きく異なります。復習時間をできるだけ作ってください。</p>		9	6/23	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter4		
				10	6/30	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter5		
				11	7/7	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter6		
		Microsoft Word クイックマスター 2019 応用編		12	7/14	検定対策・模擬問題①		
		5. 成績評価の方法・基準		13	7/21	検定対策・模擬問題②		
		<p>出席率80%以上必須、検定試験結果60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満</p> <p>※検定試験結果の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		14	7/28	検定対策・模擬問題③		
15	8/1(火)			検定対策・模擬問題④				
評価 試験								



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	スポーツ健康学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
担当者	島田 渉		30	前期	金3・4	施設
			実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>食べ物から摂取したエネルギーと運動により消費したエネルギーがバランスよく保たれていることが健康の為に良い状態です。しかし食べる量は変わらず、運動を行わないと摂取エネルギーが消費エネルギーを上回り、使われなかったエネルギーは脂肪としてからだに蓄えていきます。将来、このような説明ができるようになるためには、自ら経験することによって、より説得力を身につける。</p> <p>仲間と協調することで地域共創力につながるコミュニケーション力を身につける。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/14	履修内容についてのガイダンス(HR教室)	
		2	4/21	古牧体育館 (バレーボール)	
		3	4/28	芹田体育館 (バスケットボール)	
		4	5/12	会場: 未定	
		2. 目標検定・資格	5	5/26	会場: 未定
			受験対象		
		実施日	6	6/2	会場: 未定
		3. 学習上の留意点	7	6/9	会場: 未定
		服装については、特に色・デザイン等の指定はないが、運動に適したジャージ類、トレーナー・スウェット類、Tシャツなどを着用すること。	8	6/16	会場: 未定
		体育館や競技場は毎回変わります。	9	6/23	会場: 未定
		4. テキスト	10	6/30	会場: 未定
		参考にして欲しい本や文献に関しては、授業において紹介する	11	7/7	会場: 未定
		5. 成績評価の方法・基準	12	7/14	会場: 未定
		出席率80%以上必須。 授業参加への積極性と協調性から評価を行う。	13	7/21	会場: 未定
	14	7/28	会場: 未定		
	15	8/1 (火)	まとめ(HR教室)		
	評価 試験				

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	販売計数基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月1	301
担当者	福澤 義人		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>流通・小売業(医薬品販売業を含む)における売上高・値入高・荒利益高などの基礎的計数を理解し、計数能力を高める。 計数を通じて流通・小売業で働く能力を高めるとともに、ビジネス界で活躍できる計数能力を身に付ける。</p> <p>2. 目標検定・資格 公開経営指導協会 小売業計数能力検定初級 受験対象 全員</p> <p>実施日 2023/8/3</p> <p>3. 学習上の留意点 計数能力を高めるためには、数字に慣れることである。そのためには計算方法を理解し、反復練習する必要がある。 週1回の講座ですので、小テストを繰返し、計数能力検定の合格を目指します。 流通業に必要な最も基礎的な能力を身に付けるため、受講にあたっては、積極的な参加を希望します。</p> <p>4. テキスト 公開経営指導協会 小売業計数能力検定初級</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 出席率80%以上必須、課題評価60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※課題評価の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	利益構造と荒利益・計数と販売
		2	4/17	売上高の分解
		3	4/24	売上高と売価の関係
		4	5/1	値入計算
		5	5/8	ロスと見込んだ値入計算
		6	5/15	荒利益の計算
		7	5/22	販売ロスの改善
		8	5/29	歩留り計算
		9	6/5	歩留りと荒利益の関係
		10	6/12	売上高構成比の計算・予算達成率の計算
		11	6/26	実績管理
		12	7/3	売買差益管理の計算
		13	7/10	総合演習①
		14	7/24	総合演習②
15	7/31	総合演習③		
		評価	試験	

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	販売理論 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	月4・金2	203
担当者	坂口 和江		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	2
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、販売理論ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
近年、流通業界を取り巻く環境は大きく進化しています。そのため、販売技術の向上や顧客ニーズを読み取る力は欠かせないものとなっています。 本講義では流通業界では唯一の公的資格と言われている日本商工会議所主催”リテールマーケティング(販売士)3級”の資格取得を目指します。学習を通して、即戦力として必要なビジネスに直結した知識・技術・能力を身につけます。	No.	日付 授業内容
	1	4/10 検定試験概要 1.小売業の類型1章 4/14 1.小売業の類型 1章
2. 目標検定・資格	2	4/17 1.小売業の類型 2章 4/21 1.小売業の類型 2章
	3	4/24 1.小売業の類型 3章 4/28 1.小売業の類型 3章
日本商工会議所・販売士検定3級(第91回)	4	5/1 1.小売業の類型 3章 5/8 1.小売業の類型 3章
	5	5/12 1.小売業の類型 4章 5/15 1.小売業の類型 まとめ 小テスト
受験対象 全員	6	5/22 2.マーチャライジング 1章 5/26 2.マーチャライジング 2章
実施日 2024/2/13	7	5/29 2.マーチャライジング 1.2章 まとめ 6/2 2.マーチャライジング 3章
3. 学習上の留意点	8	6/5 2.マーチャライジング 3章 6/9 2.マーチャライジング 3章
販売士検定試験は①全科目の平均が70点以上、②1科目ごとの得点が50点以上という2点を満たすことが合格基準となっています。苦手科目を作らず、まんべんなく学習してください。	9	6/12 2.マーチャライジング 4章 6/16 2.マーチャライジング 4章
	10	6/23 2.マーチャライジング 3.4章 まとめ 6/26 2.マーチャライジング 5章
4. テキスト	11	6/30 2.マーチャライジング 5章 7/3 2.マーチャライジング 6章
日本商工会議所販売士養成講座3級テキスト	12	7/7 2.マーチャライジング 6章 7/10 2.マーチャライジング 7章
5. 成績評価の方法・基準	13	7/14 2.マーチャライジング 5.6.7章 まとめ 7/21 2.マーチャライジング 小テスト
・出席率80%以上、必須。 ・期末試験60%未満は追試。 ・期末試験の点数(60%)に授業態度、単元小テストなど(40%)を加味し評価する。	14	7/24 3.ストアオペレーション 1章 7/28 3.ストアオペレーション 1章
	15	7/31 期末試験 8/1 まとめ (火)
A総合評価 90点以上 B総合評価 70点以上、90点未満 C総合評価 60点以上、70点未満 D総合評価 60点未満 → 単位不認定	評価 試験	

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリスト コース	学年・クラス	1D	
講義名	<b>デジタルPOP</b>		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月2	203
担当者	<b>西澤 英子</b>		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容	DTPデザイン、IT教育で起業。DTPデザイナーとして業務を行っている教員が、デジタルPOPほかについて教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
POP広告の役割を理解し、デジタルで効率よく制作および修正可能なデジタルPOPの作成方法等を学びます	No.	日付	授業内容
	1	4/10	POP広告の役割
	2	4/17	デザインの基礎知識 (レイアウト手法・色・フォント等)
	3	4/24	Wordの操作ポイント(1)
	4	5/1	Wordの操作ポイント(2)
2. 目標検定・資格	5	5/8	Wordの操作ポイント(3)
なし	受験対象		
実施日	6	5/15	季節のPOP～春～
3. 学習上の留意点	7	5/22	季節のPOP～夏～
Microsoft Wordを使い、効率よく、訴求力のあるPOPを作っていきます。課題制作により理解度を測ります。	8	5/29	季節のPOP～秋～
	9	6/5	季節のPOP～冬～
4. テキスト	10	6/12	ブライスカード(1)
資料配布 購入したファイルを利用してください	11	6/26	ブライスカード(2)
	12	7/3	ブライスカード(3)
5. 成績評価の方法・基準	13	7/10	課題制作(1)
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※再試験については80%の点数をもって、C評価とする。	14	7/24	課題制作(2)
	15	7/31	課題提出(発表)
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリスト	学年・クラス	1D
講義名	調剤事務 I	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	通年	水3	302
担当者	滝澤 幸子	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容	医療事務協会においてレセプト作成および講師として勤務した経験がある教員が、医療関連の事務において教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
保険医療機関の医師の処方に基づいて行われる保険調剤の仕組みを学び、保険調剤薬局での仕事を理解しましょう。 <調剤薬局での業務> ①保険証の確認 ②処方箋の受け取り ③処方箋内容のコンピュータ入力 ④薬剤計算 ⑤医療保険制度、調剤報酬点数表の理解	No.	日付 授業内容
2. 目標検定・資格	1	4/12 医療保険制度
	2	4/19 医療保険制度
調剤事務認定実務者試験	3	4/26 保険調剤しくみ
	4	5/10 調剤報酬の算定①処方箋の見方
受験対象 全員	5	5/17 調剤報酬の算定②調剤報酬の算定方法
	6	5/24 調剤基本料
実施日	2023年1月末予定	
3. 学習上の留意点	7	5/31 薬剤料
レセプトの記入方法や会計業務を学び、登録販売者資格に併せて調剤事務管理士のダブル取得することで、薬局、医薬品販売業の両業務ができるようになることを目指します。	8	6/7 薬剤料
4. テキスト	9	6/14 薬剤調製料
	10	6/21 薬剤調製料
調剤報酬事務&レセプト作例集 トレーニングブック サポートブック レセプトセット	11	6/28 練習問題
5. 成績評価の方法・基準	12	7/5 レセプト作成
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする	13	7/12 レセプト作成
※追試については80%の点数をもってC評価とする	14	7/19 レセプト作成
	15	7/26 期末試験
	評価	
	試験	

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	ラッピング		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	木2	302
担当者	荒井 明子		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>日本のしきたりを踏まえ、お客様の要望に合った包みができるよう知識と包みの技術を学ぶ。また準備や片づけをスムーズに行う段取りを身に付け、時間や物事の流れを捉える。</p> <p>3級検定取得に向けて、テキストに沿って基本の包み方、リボンの掛け方、熨斗紙の掛け方を実践していきます。それぞれの品物に合った包みが正確にできるよう実技は練習を繰り返し、しきたりはしっかり学習して覚えましょう。わからないことはそのままにせず、たくさん発言をして理解を深めましょう。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/13	ラッピングとは 道具の使い方
		2	4/20	合わせ包み1(標準箱)と横一文字掛けリボン
		3	4/27	合わせ包み2(薄型箱)斜めがけリボン
		4	5/11	合わせ包み3(立方体・人形箱)十字掛けリボン
		5	5/18	合わせ包み応用
		6	5/25	斜め包み1(標準箱)リボン
		7	6/1	斜め包み2(薄型箱)リボン
		8	6/8	びん包み1(風呂敷包み応用)シールリボン1
		9	6/15	びん包み2(斜め包み応用)シールリボン2
		10	6/22	円柱包み
		11	6/29	七タラッピング
		12	7/6	贈る文化
		13	7/13	しきたり1
		14	7/20	しきたり2
15	7/27	検定対応		
2. 目標検定・資格				
商業ラッピング3級 商業ラッピング協会主催	受験対象 全員			
実施日	2023/8/3			
3. 学習上の留意点				
4. テキスト				
商業ラッピング3級				
5. 成績評価の方法・基準				
授業の様子・小テスト・出欠席等を加味し、総合的に判断する				
		評価 試験		

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	基礎学力講座 SPI対策		回数 30	期間 1年	曜日・時限 木4	教室 301
担当者	鈴木詩郎		実務経験	必修・選択 必修	授業形態 講・演	単位数 2
実務経験ある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎は人が社会生活を営む上で必要不可欠な知識であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、自ら考える力の育成を目指します。また就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するのがこの講義の目的です。	授業日	コマ
	7月6日	1
	7月13日	1
	7月20日	1
	7月27日	1
	9月7日	1
	9月14日	1
	9月21日	1
	9月28日	1
	10月5日	1
3. 学習上の留意点	10月12日	1
①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢で臨むこと。	10月19日	1
②テキストや冊子を繰り返し解いて、問題形式に慣れ、1冊の問題集を完全に自分のものにする	10月26日	1
こと。	11月2日	1
③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎理解の確認を怠らないこと。	11月9日	1
	11月16日	1
	11月30日	1
	12月7日	1
	12月14日	1
4. テキスト	2024年	
『SPI&テストセンター1200題』	4月12日	1
問題演習プリント集	4月19日	1
5. 成績評価の方法・基準	4月26日	1
①必要出席率90%以上	5月10日	1
②中間試験、期末試験	5月17日	1
③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。	5月24日	1
A・・・90点以上、B・・・70点以上、C・・・60点以上、D・・・60点未満。	5月31日	1
	6月7日	1
	6月14日	1
	6月21日	1
	6月28日	1
	2024//	1
		合計コマ数
		30

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	就職支援		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火1	301・201
担当者	吉家 昭雄		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必須	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
以下の順で就職への心構えをつくり、就職活動の準備をしていきます。 ①就職活動の前準備を知る 活動に必要な基礎的能力を身に付ける 的な職業理解 動の概要を理解する  ②職業・企業に関する情報を集める 情報を分析する 業を決定し会社を決定する 定を勝ち取る	No. 日付 授業内容		
	1	9/6	モチベーションアップ2(面接指導)
③ ④職 ⑤内	2	9/13	履歴書・エントリーシートの書き方
	3	9/20	自己アピール文章の書き方1
無	4	9/27	自己アピール文章の書き方2
	5	10/4	自己アピール文章の書き方3
受験対象	6	10/18	自己アピール文章の書き方4
	7	10/25	履歴書の書き方1
3. 学習上の留意点	8	11/1	履歴書の書き方2
連続した授業ですので、100%の出席を目指してください。	9	11/15	履歴書の書き方3
	10	11/22	就職活動計画と報告の仕方(履歴書の書き方まとめ)
4. テキスト	11	11/29	面接試験の受け方
就職ノートファイル 要に応じて資料を配布	12	12/6	学内面接練習1
5. 成績評価の方法・基準	13	12/13	就職サイト・エントリー / SPI 模試
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出  A 総合評価90点以上 B 総合評価70点以上、90点未満 C 総合評価60点以上、70点未満 D 総合評価60点未満→単位不認定	14	1/10	合同説明会のまわり方
	15	1/17	学内面接練習2
	評価 試験		



科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火2	301
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、ビジネス実務について教育を行う科目				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>現代の社会や企業から求められるビジネス能力の養成をはかります。社会人として必要となる基本的な知識・マナーを身につけ、就職活動に対応できるレベルに加え、入社後すぐに活躍できるスキルの習得をめざします。</p> <p>自ら考え、行動できること、また「わかる」ではなく「できる」ようになるための実践的な講座です。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	9/5	リフレクション①			
		2	9/12	リフレクション②			
		3	9/19	仕事への取り組み方 効率的・合理的な仕事の進め方			
		4	9/26	スケジュール管理と情報整理、 仕事とIT(Eメール)の活用、書き方			
		2. 目標検定・資格		5	10/3	ビジネス文書の種類 その役割と書き方 社内文書の種類と作成例	
		ビジネス能力検定3級		受験対象		社外文書の出し方	
				全員		わかりやすい文章の基本	
		実施日		2024年1月、後期試験週			
		3. 学習上の留意点		7	10/17	社外文書	
		<p>授業はさまざまなグループワークを導入した展開とするので、積極的な参加が不可欠となります。まずは、理解した内容はグループ全員が共有できるよう教えあうことが大切です。クラスメイトとコミュニケーションを取ること、自分の意見を伝えることを意識的に行ってください。</p>		8	10/24	電話対応① 電話対応の重要性	
				9	10/31	電話対応② 受け方・かけ方演習	
				10	11/14	情報分析のための表とグラフ データの読み方・まとめ方	
		4. テキスト		11	11/21	情報収集とメディア活用	
		ビジネス能力検定3級ジョブパス公式テキスト2021年度版(日本能率協会マネジメントセンター)		12	11/28	会社を取り巻く環境と経済の基礎	
5. 成績評価の方法・基準		13	12/5	検定対策			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		14	12/12	検定対策			
		15	12/19	検定対策 まとめ			
		評価					
		試験					

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	コミュニケーション応用		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水1	301
担当者	野村 恵美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>私たちは、社会の中で多くの人に囲まれて暮らしています。人とつながり、自身の世界を広げていくために、自己を知り他者との関わり方を見つめてみましょう。</p> <p>自分の強み、持ち味、大切にしている価値観に気づき、他者の多様性を受け止めることの大切さを理解することで、自分らしいコミュニケーションスタイルを知ることができます。</p> <p>なりたい自分、求められる自分を目指す行動力を身につけ、自信をもって自分を周囲に伝えていくために、適切な自己表現ができる力を身につけましょう。</p>	No.	日付	授業内容
	<p>2. 目標検定・資格</p> <p>なし</p> <p>受験対象</p>	1	9/6
<p>3. 学習上の留意点</p> <p>グループワーク、ワークショップを通じて、知識・テクニックのインプットとアウトプットを重ねる体感型の実践的内容となります。</p> <p>クラス相互の学び合いの場として、積極的な受講・参加を希望します。</p>	2	9/13	Part2.MD1.プラス思考で可能性を広げる
4. テキスト	3	9/20	人とのつき合い ・人が持っている「粹組み」を知ろう
5. 成績評価の方法・基準	4	9/27	人は、“良い”“悪い”で判断する ・好き嫌いにあらわれる「価値観」
必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。	5	10/4	何から起こるのか？ ・日常生活は「思い込み」でいっぱい
	6	10/11	分かち合うコミュニケーション ・違いは間違いではない。違いはどこから？
<p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p>	7	10/18	コミュニケーションの実際「聴くこと」 ・わかったつもりのやり取り
	8	10/25	コミュニケーションの実際「話すこと」 ・誤解がおこりにくい話し方
	9	11/1	感情の様々な表れ方「感じる」① ・感情とのつきあい方
	10	11/8	感情の様々な表れ方「感じる」② ・感情とのつきあい方
	11	11/15	MD2.考え方を換えれば行動が変わる
	12	11/22	MD3.あなたの問題は、あなたが解決できる
	13	11/29	MD4.自分のコミュニケーションスタイル
	14	12/6	MD5.あなたの才能・可能性を開花させる
	15	12/13	まとめと振り返り ・気づきの明確化、レポート作成
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	パソコン基礎 I (Excel)	回数	講義期間	曜日・時限		教室
		15	後期	水・2		201
担当者	坂口和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
		有	必修	演習	1	
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)								
<p>ビジネスではパソコンを使わない業務はほぼないと言えるほど一般的になっています。授業の中では、あらゆる業務のなかで使用されている”Excel”の技能をサーティファイExcel表計算処理技能認定試験の2級取得を目標に学習します。2級は知識科目があるため、知識科目の対策はプリント学習で基本的に自習となります。問題をこなすだけでなく、合理的にかつ精度の高い処理を行うための講義を行います。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>Excel表計算処理技能認定試験2級(サーティファイ)</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2024/1/15～1/17</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>1回、1回の講義内容が濃密です。欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。また、テキストとUSBは必ず持参してください。なお、自宅での学習なども並行すると学習結果が大きく異なりますので、復習時間をできるだけ作ってください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>Microsoft Excel クイックマスター 2019 応用編</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、検定試験結果60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※検定試験結果の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については90%の点数を必要とする。</p>		Excel表計算処理技能認定試験2級(サーティファイ)	受験対象		全員	No.	日付	授業内容		
		Excel表計算処理技能認定試験2級(サーティファイ)	受験対象							
			全員							
		1	9/6	サーティファイ検定試験概要 Excel基礎確認(プリント)						
		2	9/13	Excel基礎確認(プリント)						
		3	9/20	Excel基礎確認-関数-(プリント)						
		4	9/27	Excel3級総合演習問題						
		5	10/4	Excel クイックマスター Chapter1						
		6	10/11	Excel クイックマスター Chapter1～2						
		7	10/18	Excel クイックマスター Chapter2						
		8	10/25	Excel クイックマスター Chapter2～3						
		9	11/1	Excel クイックマスター Chapter4						
		10	11/8	Excel クイックマスター Chapter5						
		11	11/15	Excel クイックマスター Chapter6						
		12	11/22	Excel クイックマスター Chapter7						
13	11/29	検定対策・模擬問題①								
14	12/6	検定対策・模擬問題②								
15	12/13	検定対策・模擬問題③								
		評価 試験								

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリスト	学年・クラス	1D	
講義名	化粧品Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木1	302.304
担当者	滝澤 幸子 上杉 奈都子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講演	1D
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>&lt;化粧品&gt; 化粧品の良し悪しを評価するのではなく、成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。 後期では、健康で美しい肌をつくるための生活を送るための知識を中心に学びます。</p> <p>&lt;お花&gt; アレンジメントやインテリア小物の制作を通じて「おもてなし」のアイデアの幅を広げる。様々な素材や道具に触れることで生活の知恵を学ぶ。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/7	肌悩みの原因とお手入れ ・ニキビ(尋常性ざ瘡)
2. 目標検定・資格	2	9/14	肌悩みの原因とお手入れ ・毛穴
	3	9/21	肌悩みの原因とお手入れ ・シミ
2級・・・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・・・化粧品の専門家を目指す  2年次後期に2級の取得を目指します。さらに希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができるので、幅広い知識を身につけましょう。	4	9/28	テーブルの花① 生花のミニアレンジメント
	5	10/5	肌悩みの原因とお手入れ ・シミ
実施日	6	10/12	インテリアの花 和紙の田ペストリー
3. 学習上の留意点	7	10/19	肌悩みの原因とお手入れ ・くすみ
4. テキスト	8	10/26	肌悩みの原因とお手入れ ・くま
日本化粧品検定2・3級テキスト 日本化粧品検定2・3級問題集	9	11/2	インテリアの花② ドライ素材の壁掛け
5. 成績評価の方法・基準	10	11/9	肌悩みの原因とお手入れ ・たるみ
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。	11	11/16	メイクアップの基本テクニック
	12	11/30	クリスマスリース
	13	12/7	メイクアップの基本テクニック
	14	12/14	メイクアップの基本テクニック
	15	1/11	テーブルの花② 季節のアレンジメント
	評価 試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	医薬品Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	後期	木・2 金・2	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講	2
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医薬品ほかについて教育を行う科目。				

一般用医薬品において用いられる主な有効成分に関して、『効能効果及びその特徴』『飲み方や飲み合わせ、年齢、基礎疾患等、効き目や安全性に影響を与える要因』『起こり得る副作用』等につき理解し、購入者への情報提供や相談対応が出来るようになることを目指す。	No.	日付	授業内容		
	1	9/7(木)	かぜの諸症状、かぜ薬の働き 解熱鎮痛成分、くしゃみ鼻汁を抑える成分、鎮咳成分、去痰成分 *生薬成分		
	2	9/8(金)	かぜ薬(抗炎症成分) 葛根湯・麻黄湯・小柴胡湯・柴胡桂枝湯		
	3	9/14(木)	小青竜湯・桂枝湯・香蘇散・半夏厚朴湯、麦門冬湯 主な副作用、プロスタグランジン		
	4	9/15(金)	解熱鎮痛成分まとめ メトカルバモール		
	5	9/21(木)	鎮痛の漢方 眠気を促す代表的な成分		
	6	9/22(金)	神経の興奮・緊張緩和の生薬 神経質、精神不安、不眠の漢方		
	7	9/28(木)	これまでの漢方25品まとめ 眠気を促す薬まとめ		
8	9/29(金)	眠気を防ぐ薬			
2. 目標検定・資格	9	10/5(木)	鎮暈薬 小児鎮静薬		
登録販売者試験	受験対象	10	10/6(金)	鎮咳去痰薬	
	全員	11	10/12(木)	鎮咳去痰薬 まとめ	
実施日	2024/9/上旬		12	10/19(木)	口腔咽喉薬 含嗽薬
3. 学習上の留意点	13	10/20(金)	制酸薬		
医薬品に関する情報提供、相談対応における実践的なイメージを常に持ち続けて下さい。反復学習は必ず実施して下さい。	14	10/26(木)	健胃成分 消化成分 胃粘膜保護・修復成分		
	15	10/27(金)	消泡成分 胃液分泌抑制成分 漢方(胃) 胃薬まとめ		
	16	11/2(木)	腸の不調、薬が症状を抑える仕組み 整腸成分		
	17	11/9(木)	ロペラミド塩酸塩 腸内殺菌成分 吸着成分		
	18	11/10(金)	小腸刺激性瀉下成分 無機塩類 膨潤性瀉下成分 DSS 大腸刺激性瀉下成分 有機塩類 膨潤性瀉下成分 DSS マルツエキス 漢方処方製剤		
	19	11/16(木)	瀉下成分まとめ		
	20	11/17(金)	胃腸鎮痛鎮痙薬 浣腸薬使用方法		
登録販売者研修テキスト(薬事日報社D-モ)プリント 登録販売者過去問題集	21	11/24(金)	浣腸薬 駆虫薬		
	22	11/30(木)	強心薬 高コレステロール改善薬		
	23	12/1(金)	貧血用薬 その他の循環器用薬		
5. 成績評価の方法・基準	24	12/7(木)	痔の薬		
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする。	25	12/8(金)	泌尿器用薬 婦人薬(エストラジオールまで)		
	26	12/14(木)	婦人薬 内服アレルギー用薬(抗ヒスタミン成分まで)		
	27	12/15(金)	鼻に用いる薬		
	28	1/9(火)	眼科用薬		
	29	1/11(木)	後期まとめ		
	30	1/12(金)	期末試験		
	評価 試験				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	POP I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	木3	301
担当者	村松康子		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		広告代理店の業務を20年間担当した経験を持つ教員が、POPについて教育を行う科目。				

<p>販売に不可欠であり又差別化対策として重要視されている手書きPOPの基礎を学びます。POPクリエイター技能審査試験の合格を念頭においてお客様の足を止めさせいかに購買に向かわせるか・・・その為のレイアウト・レタリング・キャッチフレーズ等を学び練習を重ねます。又実店舗のPOP制作や今巷で流行りのブラックボードにも挑戦します。</p> <p>2 目標検定・資格 POPクリエイター技能審査試験 受験対象</p> <p>実施日 2024年8月上旬</p> <p>3. 学習上の留意点 レタリング(ゴシック)や紙面上のレイアウトが重要になります。又売ろうとする物や告知する事柄に関しての適切なコピーと時間内にまとめ上げるスピードを身に付ける事が大切です。</p> <p>4. テキスト 販売テキスト</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 出席率80%以上 単元毎に小課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※単元毎の課題+期末試験の評価に授業態度などを加味し、総合的に判断します。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とします。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/7	販売促進 POP広告についての説明 角ゴシック体(風)を描く為の基本ストロークの練習
	2	9/14	ゴシック体(風)のカタカナ・数字の練習
	3	9/21	角ゴシック体(風)のひらがな・アルファベットの練習
	4	9/28	角ゴシック体(風)のひらがな・アルファベットの練習の続き 簡単なプライスカード作成
	5	10/5	ゴシック体(風)の漢字練習
	6	10/12	丸ゴシック体(風)の文字練習 簡単なプライスカード作成
	7	10/19	飾ケイ・装飾文字の説明 装飾文字の練習
	8	10/26	レイアウトの基本(レイアウトパターン例) ショーカードの説明の後 簡単なショーカードの作成
	9	11/2	POP作品を描く (プライスカード・ショーカード)
	10	11/9	POP作品を描く (ポスター的POP)
	11	11/16	キャッチフレーズを考える POP作品を描く
	12	11/30	飾ケイ・装飾文字を使ったPOP作品を描き使用時の作品の変化を理解し応用する
	13	12/7	ポスター的POPの作成 (張出添削)
	14	12/14	基礎練習・プライスカード・ショーカードの作成 (張出添削)
15	1/11	バレンタイン関連の告知POPの作成	
評価 試験			

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	基礎学力講座 SPI対策	回数	期間	曜日・時限		教室
		30	1年	木4		301
担当者	鈴木詩郎	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
		無	必修	講・演	2	

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎は人が社会生活を営む上で必要不可欠な知識であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、自ら考える力の育成を目指します。また就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するのがこの講義の目的です。	授業日	コマ 計画
3. 学習上の留意点 ①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢で臨むこと。②テキストや冊子を繰り返し解いて、問題形式に慣れ、1冊の問題集を完全に自分のものにする。③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎理解の確認を怠らないこと。	7月6日	1 講座オリエンテーション/計算基礎テスト
	7月13日	1 一般常識(時事・一般教養)
4. テキスト 『SPI&テストセンター1200題』 問題演習プリント集	7月20日	1 言語能力:同義語・対義語
	7月27日	1 言語能力:二語の関係
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	9月7日	1 言語能力:熟語の構成
	9月14日	1 非言語能力:計算・数的問題(速さ・距離・時間①)
4. テキスト 『SPI&テストセンター1200題』 問題演習プリント集	9月21日	1 非言語能力:計算・数的問題(速さ・距離・時間②)
	9月28日	1 非言語能力:計算・数的問題(流水算)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	10月5日	1 中間整理テスト
	10月12日	1 社会常識:敬語基礎
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	10月19日	1 社会常識:敬語応用
	10月26日	1 社会常識:敬語演習
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	11月2日	1 非言語能力:計算・数的問題(割合と比)
	11月9日	1 非言語能力:計算・数的問題(塩水問題)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	11月16日	1 非言語能力:計算・数的問題(表の計算)
	11月30日	1 非言語能力:計算・数的問題(仕事算)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	12月7日	1 非言語能力:計算・数的問題(分割算)
	12月14日	1 確認テスト
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	2024年	
	4月12日	1 言語能力:語句の意味
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	4月19日	1 言語能力:語句の用法①
	4月26日	1 言語能力:語句の用法②
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	5月10日	1 言語能力:文の並べ替え
	5月17日	1 非言語能力:論証問題(推論①)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	5月24日	1 非言語能力:論証問題(推論②)
	5月31日	1 非言語能力:論証問題(推論③)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	6月7日	1 非言語能力:論証問題(集合①)
	6月14日	1 非言語能力:論証問題(集合②)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	6月21日	1 非言語能力:計算・数的問題(損益算)
	6月28日	1 非言語能力:計算・数的問題(代金精算)
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	2024//	1 総合試験
	合計コマ数	30

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリスト	学年・クラス	1D	
講義名	調剤事務Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	月1	302
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講演	1D
実務経験のある教員による授業内容		医療事務協会においてレセプト作成および講師として勤務した経験がある教員が、医療関連の事務において教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>前期に引き続き、保険医療機関の医師の処方に基づいて行われる保険調剤の仕組みを学び、保険調剤薬局での仕事を理解します。</p> <p>&lt;調剤薬局での業務&gt;</p> <p>①保険証の確認 ②処方箋の受け取り ③処方箋内容のコンピュータ入力 ④薬剤計算 ⑤医療保険制度、調剤報酬点数表の理解</p> <p>検定試験を受験し、登録販売者に併せて調剤事務管理士のダブル資格を取得を目指し、薬局、医薬品販売業の両方で業務ができるようになります。</p>		No.	日付	授業内容
		1	9/4	調剤報酬の算定 前期復習
		2	9/11	調剤報酬の算定 調剤料加算
		3	9/25	調剤報酬の算定 調剤料加算
		4	10/2	調剤報酬の算定 薬剤管理料②
		5	10/16	調剤報酬の算定 医療保障制度
		6	10/23	復習問題
		7	10/30	レセプト作例集
		8	11/6	レセプト作例集
		9	11/13	トレーニングブック
		10	11/20	トレーニングブック
		11	11/27	トレーニングブック
		12	12/4	トレーニングブック
		13	12/11	過去問題
		14	12/18	模擬試験
15	1/10	模擬試験		
2. 目標検定・資格				
調剤事務認定実務者試験	受験対象			
	全員			
実施日	2024年1月試験週			
3. 学習上の留意点				
調剤点数の理解は基礎が大切です。繰り返し行うことで業務の理解もできるので、積極的に取り組み、検定合格を目指しましょう。				
4. テキスト				
医療保障制度 算定とレセプト、トレーニングブック 調剤報酬事務&レセプト作例集				
5. 成績評価の方法・基準				
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。				
評価	検定試験			
試験				



科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリストコース		1D	
講義名	販売理論(販売士3級養成講座)		講義期間	回数	曜日・時限	教室
			前期	30	月2・金1	302
担当者	坂口 和江		実務経験	回数	授業形態	単位数
			有	30	講	2
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
<p>前期に引き続き、流通業界では唯一の公的資格とされている日本商工会議所主催”リテールマーケティング(販売士)3級”の資格取得の学習を通して、即戦力として必要なビジネスに直結した知識・技術・能力を身につけていきます。</p> <p>5科目目の「販売・経営管理」は本校にて予備試験が受験でき、合格すると本試験では受験免除の特典があります。気を抜かずに試験合格に向けて頑張りましょう。</p>		9/4(月)	3.ストアオペレーション1章 おさらい			
		9/8(金)	3.ストアオペレーション2章			
		9/11(月)	3.ストアオペレーション2章			
		9/15(金)	3.ストアオペレーション3章			
		9/22(金)	3.ストアオペレーション3章			
		9/25(月)	3.ストアオペレーション3章			
		9/29(金)	3.ストアオペレーション4章			
		10/2(月)	3.ストアオペレーションまとめ 小テスト			
		10/6(金)	4.マーケティング1章			
2. 目標検定・資格		10/16(月)	4.マーケティング2章			
日本商工会議所・販売士検定3級(第89回)	受験対象	10/20(金)	4.マーケティング3章			
	全員	10/23(月)	4.マーケティング3章			
実施日	2024/2/13	10/27(金)	4.マーケティング3章			
3. 学習上の留意点		10/30(月)	4.マーケティング4章			
<p>後期も前期同様に進めていきます。範囲が広いので、科目ごとに興味を持てる点を探し、苦手科目をつくらずに学習していきましょう。</p> <p>※持ち物: ノート・筆記用具・電卓</p>		11/6(月)	4.マーケティング5章			
		11/10(金)	4.マーケティング5章			
		11/13(月)	4.マーケティングまとめ 小テスト			
		11/17(金)	5.販売・経営管理1章			
		11/20(月)	5.販売・経営管理2章			
4. テキスト		11/24(金)	5.販売・経営管理2章			
<p>レクチャー&amp;トレーニング日商リテールマーケティング&lt;販売士&gt;検定試験3級(成美堂出版)</p>		11/27(月)	5.販売・経営管理2章			
		12/1(金)	5.販売・経営管理3章			
		12/4(月)	5.販売・経営管理3章			
5. 成績評価の方法・基準		12/8(金)	5.販売・経営管理4章			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試出席率不足は課題提出</p> <p>A 総合評価90点以上</p> <p>B 総合評価70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とします。</p>		12/11(月)	5.販売・経営管理4章			
		12/15(金)	販売・経営管理 予備試験			
		12/18(月)	まとめ			
		1/9(火)	過去問題			
		1/10(水)	過去問題			
		1/12(金)	過去問題			

科名	医薬サポート科	コース名	医薬品スペシャリスト	学年・クラス	1D	
講義名	デュアル登録販売者実習 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期		DS
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			無	必修	講・演	4
実務経験のある教員による授業内容						

		No.	日付	授業内容				
<p>登録販売者から医薬品登録販売者になるには、累計2年以上(月80時間×24ヶ月=1920時間)の実務・業務経験が必要となります。登録販売者試験を受けていない人での薬局、薬店で働いた経験も含まれるため在学中に最低1年間の経験を積みます。</p> <p>学内授業では得られない、現場対応力を身に付け、卒業後、即戦力として活躍できるプロとしての登録販売者を目指す。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>登録販売者</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2024/9月上旬</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>毎日必ず目標を立て、達成するために工夫をすること。笑顔、言葉遣い、態度、身だしなみ話し方は留意し、常に前向きな姿勢を維持し、臨んでください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>実務体験実習要項 プリント</p> <p>出席率80%以上必須</p> <p>授業中の態度、実習記録やレポートの記入内容等により、総合的に評価します。</p>		登録販売者	受験対象		全員			医薬品、医薬部外品、化粧品、健康食品などの販売業務
		登録販売者	受験対象					
			全員					
					レジ業務			
					接客コミュニケーション			
					品出し			
					期限チェック			
					売り場作り			
					クリンネス			
					その他			
		評価						
		試験						

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリスト	学年・クラス	
講義名	卒業研究		回数	講義期間	曜日・時限
			120	後期	月～金(時間割参照)
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態
				必修	講演
実務経験のある教員による授業内容					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)
2年間を見つめ直し自己の学業生活の仕上げとなるようにテーマを考え、それをもとに「調査・研究」を行い論文の作成をします。 <40ページ以上> 習得した知識・技術を総合的に発揮させましょう。  ※すでに内定し職場実習をしている場合は、実習日誌とレポート(1200字以上)の提出を代替とします。	No. 日付 授業内容
2. 目標検定・資格	・オリエンテーション 9月5日(火)3時間目  ・テーマ、構成決定締切 9月19日(火)3時間目  ・クラス内中間発表 11月5日(火)3時間目  ・論文仕上げ 締切日 12月4日(月)4時間目  ・パワーポイント完成 12月11日(月)4時間目  ・医薬サポート科 卒業研究発表会 令和6年1月16日(火)301教室
実施日	
3. 学習上の留意点	
これまでの「覚える学習」から「自分で考えて作り出す学習」となるため、自分の課題をしっかりと計画実行をしましょう。  ※途中で内定、実習になった場合はその時点で進行状況を鑑み対処します。	
4. テキスト	
5. 成績評価の方法・基準	
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 健康アドバイザー	学年・クラス	2D
講義名	手話	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	後期	月2	405
担当者	千野 裕子	実務経験	必修・選択	単位数	備考
		有	必修	1	講・演
実務経験のある教員による授業内容	県登録手話通訳者として従事した経験のある教員が、手話について教育を行う科目。				

No.	日付	授業内容
1	9/4	・手話で挨拶 ・自己紹介
2	9/11	<基礎知識> 聴覚障がい者へのユニバーサルサービス ①
3	9/25	<基礎知識> 聴覚障がい者へのユニバーサルサービス ②
4	10/2	<手話へのアプローチ> 伝えあってみよう ・指文字 ・数字
5	10/16	<手話の基本> ① ・名前 ・家族
6	10/23	<手話の基本> ② ・趣味 ・仕事
7	10/30	上野先生 聴覚障がい者と医療
8	11/6	<手話の基本> ③ ・住所
9	11/13	<場面別 手話の会話> 1 基本の会話
10	11/20	<場面別 手話の会話> 2 病院・診療所での会話 ①
11	11/27	上野先生 聴覚障がい者にやさしい接客
12	12/4	<場面別 手話の会話> 3 病院・診療所での会話 ②
13	12/11	<場面別 手話の会話> 4 薬局での会話
14	12/18	復習 ①医療手話 ②接客手話
15	1/10 (水)	期末試験 実技:手話3分間スピーチ レポート:テーマは後日
評価 試験		

聴覚障がい及び聴覚障がい者について知り、合わせて、コミュニケーション方法の多様性を学びます。その上で、特に『手話』を日常言語としている聴覚障がい者への対応として、手話の基礎表現と、医療・接客などの生活場面に応じた簡単な手話スキルを身につけ、コミュニケーション能力アップを図ります。

2. 目標検定・資格

無 受験対象

実施日

3. 学習上の留意点

手話は視覚言語(=視ることば)です。相手が視てわかりやすい動作や表情を工夫して積極的に、楽しく表わしてみましょう。また、「今耳に入っている情報がかし聞こえなかったら・・・?」、と、ふだんから聴覚障がいに対しての関心を持つように心がけましょう。

4. テキスト

プリント  
「手話で必見! 医療のすべて<外来編>」

5. 成績評価の方法・基準

出席率80%以上 単元毎に小課題提出  
A 総合評価 90点以上  
B 総合評価 70点以上、90点未満  
C 総合評価 60点以上、70点未満  
D 総合評価 60点未満→単位不認定  
※単元毎の課題+期末試験の評価に授業態度などを加味し、総合的に判断します。  
※追試については80%の点数をもって、C評価とします。

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D
講義名	パワーポイント	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	後期	月3	201
担当者	坂口 和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
		有	選択	演習	1
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。			

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>プレゼンテーションソフトであるパワーポイント(Power Point)の技能を習得します。 卒業研究の発表ではパワーポイントを使用します。授業の中では、作成技能、資料作成の工夫の仕方、発表態度も含め習得します。プレゼンテーションは自己満足では伝えたい内容が伝わりません。伝えたいことを正しく、分かりやすく簡単に聞き手に届くような作り方を提案していきます。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	9/4	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本①社内プレゼン	
2. 目標検定・資格		2	9/11	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本②社内プレゼン	
		3	9/25	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本③社外プレゼン	
<p>受験対象</p>		4	10/2	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本④社外プレゼン	
		5	10/16	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本⑤	
実施日		6	10/23	練習問題作成	
3. 学習上の留意点		7	10/30	(Word) ページ設定、目次設定等	
<p>欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。 また、USBは必ず持参してください。</p>		8	11/6	スライドの重要性について 卒業研究スライドの作成①	
		9	11/13	パワーポイント 卒業研究スライドの作成②	
4. テキスト		10	11/20	パワーポイント 卒業研究スライドの作成③	
<p>テキストは都度プリントを準備します。 綴じるためのファイルがあると便利です。</p>		11	11/27	パワーポイント 卒業研究スライドの作成④	
		12	12/4	パワーポイント 卒業研究スライドの作成⑤	
5. 成績評価の方法・基準		13	12/11	パワーポイント 卒業研究スライドの作成⑥	
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※発表の出来栄え点(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断します。</p>		14	12/18	卒業研究仮発表	
		15	1/10 (水)	卒業研究発表前リハーサル	
		評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D	
講義名	ライフプランニング		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火1	405
担当者	相馬豊恒(9/6~10/4)	吉	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
	家昭雄(10/11~11/15)		有	選択	講義	2
	清水利朗(11/29~1/17)					
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>「働く」がいよいよ間近に迫ってきました。これまでの学生生活とは全く異なる生活が始まります。そんな生活のために「知っておかなければならないこと」、「やっておかなければならないこと」を3つのテーマごとに3人の先生から学びます。それらの学びはすべて人生の教科書になるものばかりです。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	9/6	★経済の仕組み 第1回 経済とは何か なぜお金を使うようになったか			
		2	9/13	第2回 需要と供給	GDP		
		3	9/20	第3回 経済のグローバル化	為替		
		4	9/27	第4回 政府の役割	税金・年金		
		2. 目標検定・資格		5	10/4	第5回 企業の役割と経営	
		無	受験対象	6	10/11	★働くに必要な法律、保険とお金の知識 第1回 知っておきたい働くルール	
		実施日		7	10/18	第2回 税金のはなし	
		3. 学習上の留意点		8	10/25	第3回 知っておきたい年金のはなし	
				9	11/1	第4回 知っておきたい健康保険、労働保険	
				10	11/15	第5回 学生のための人生とお金の知恵	
				11	11/29	★働く直前講座「こうやって働くんだ！」 第1回 正社員であることと転職を考える	
		4. テキスト		12	12/6	第2回 働く環境の変化とこれから	
		<p>①はたらく若者ハンドブック、知っておきたい働くときの基礎知識(発行:長野県労働雇用課) ②知っておきたい年金のはなし(プリント) ③知っておきたい働くときの基礎知識(発行:全国社会保険労務士会) ④大学生のための人生とお金の知識(発行:金融広報中央委員会) 他</p>		5. 成績評価の方法・基準		第3回 働くは楽しい	
				<p>授業出席率トータル80%以上 欠席・遅刻は社会人としての大きな学びを学べない大きなマイナスであると自覚してください。授業態度・小テスト・課題などを加味して期末に総合的に評価します。</p>		13	12/13
14	1/10					第5回 自分にとっての働く目標を定める	
15	1/17						
		評価	試験				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	応用ペン字		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火2	304
担当者	岡澤 由香		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

<p>前期の基礎的な硬筆の学習をふまえ、社会に出て即時に役立つ事例での、より応用的な書法・マナーを学びます。実践練習を重ね、慌てずに自信を持って対応できる、即応力を身に付けます。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>文部科学省後援 筆書写技能検定 場: 市立長野高校(徳間1133) 実施日: 11月12日(日)、令和6年1月末</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業中だけでなく、日常生活の中でも意欲的&amp;積極的に学習意識ある文字を書く姿勢を求めます。 10/19-11/9の3回は、指導者1年生就職支援授業の為、自習(課題提出)となる予定です。提出課題の内容如何に依っては再提出にもなりませんので、静粛に取り組んで下さい。</p> <p>4. テキスト</p> <p>書き込み式ボールペン字実用練習帳 成美堂出版 和田康子</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上 単元毎に小課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とします。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	9/5	前期課題の返却と指導 アルファベット イムカプセル中間開封	タ
	2	9/12	筆順の原則・大型封筒・難熟語①	
	3	9/19	FAX送信状・資料送付状	
	4	9/26	ビジネス伝言メモ・宅急便送付状 名詞・カード・DMの添え書き	
	5	10/3	招待状の返事とマナー	
	6	10/10	連綿の基礎・難熟語②	
	⑦	10/17	お礼・お願い・お詫び・お知らせの文章	
	⑧	10/24	手紙文とマナー①ハガキ	
	⑨	10/31	手紙文とマナー②封書 季語・頭語・結語	
	10	11/14	ビジネス年賀状・掲示文	
	11	11/21	硬筆総復習課題・硬筆書写検定課題 筆ペン①基本の筆運び	
	12	11/28	筆ペン②様々な課題を筆ペンで	
	13	12/5	筆ペン③熨斗紙・祝儀・不祝儀袋・芳名帳	
	14	12/12	後期試験—後期の総合課題	
15	12/19	期末課題の返却と指導 ン字のタイムカプセル開封・評価	ペ	
	評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	栄養学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水1・2	405
担当者	石澤美代子(1時間目) 島田渉(2時間目)		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	3
実務経験のある教員による授業内容		管理栄養士として勤務をした経験のある教員が、栄養学について教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
健康づくりの基本となる理想的な食生活を送るために必要な栄養素とその働きを学び、さらに生活習慣病等の予防や改善のための知識について学ぶ。 調理実習では食材の特性や安全性、栄養価を理解し、料理の組み合わせである献立の展開を知りバランスよく食べることを知識と体験で会得する。また自立して食事づくりができるよう調理技術を習得する。 授業を通して、栄養学に基づいた食生活の管理技術を学ぶ。		No.	日付	授業内容
		2. 目標検定・資格		1
2				
3. 学習上の留意点		3	9/13	食生活診断、健康・栄養の現状
		4		食品表示
健康に興味を持ち、健康の保持・増進のために自分の食生活を振り返り、健康目標を立てて実践していく。 調理実習では準備から片付けまで実施し、食事づくりの流れを理解する。 【持ち物】 ・毎回…電卓(携帯スマホは不可) ・調理実習…エプロン、バンダナ、ハンカチ		5	9/20	栄養学のための基礎データ
		6		食事バランスガイド (調理実習の説明)
4. テキスト		7	9/27	調理実習①(中部勤労青少年ホーム)
		8		
「栄養学の基本がまるごとわかる辞典」西東社		9	10/4	栄養学の基本とライフステージ別栄養学
		10		
5. 成績評価の方法・基準		11	10/11	栄養素の基礎知識① (調理実習の説明)
		12		
出席率80%以上 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。 ※追試については70%の点数をもって、C評価とします		13	10/18	調理実習②(中部勤労青少年ホーム)
		14		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		15	10/25	栄養学の基礎知識②
		16		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		17	11/1	栄養学の基礎知識③ (調理実習の説明)
		18		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		19	11/8	調理実習③(中部勤労青少年ホーム)
		20		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		21	11/15	食材の栄養成分と働き①
		22		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		23	11/22	食材の栄養成分と働き②郷土食 (調理実習の説明)
		24		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		25	11/29	調理実習④(中部勤労青少年ホーム)
		26		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		27	12/6	病気と栄養①
		28		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします		29	12/13	病気と栄養②
		30		期末試験
評価試験				



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	化粧品Ⅳ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	水3・4	302
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
化粧品の成分や製品の種類・働き、および医薬品医療機器等法などの法律分野まで、幅広く勉強します。	No.	日付	授業内容
皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識など、1年次からの総まとめをして、11月に日本化粧品検定2級の受験をします。	1	9/6	肌を劣化させる様々な要因 ・外的、内的要因 ・紫外線
	2		
2. 目標検定・資格	3	9/13	効果的なマッサージ 美しい肌をつくる生活習慣
	4		
日本化粧品検定2級	5	9/20	化粧品にまつわるルール ・医薬品医療機器等法
受験対象 全員	6		
実施日	2023年11月下旬		
3. 学習上の留意点	7	9/27	化粧品にまつわるルール ・広告やPRのルール
	8		
2級・・・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・・・化粧品の専門家を目指す	9	10/4	化粧品原料と基礎知識 基礎化粧品・メイクアップ化粧品の構成成分
2年次後期に2級の取得を目指します。さらに希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができるので、幅広い知識を身につけましょう。	10		
4. テキスト	11	10/11	化粧品原料と基礎知識 ヘアケア商品・サプリメントの基礎知識
日本化粧品検定2・3級テキスト 日本化粧品検定2・3級問題集	12		
5. 成績評価の方法・基準	13	10/18	検定対策、まとめ
	出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。		
	15	10/25	模擬試験
	評価 試験		検定試験代替

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	ケアコミュニケーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水3・4	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容	県委託障害者通訳・コーディネーターとして従事し、県役員として勤めたことのある教員が、要約筆記を含む幅広いコミュニケーションができるための教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
ケアが必要な方を対象に、ひとりひとりのニーズに合わせたコミュニケーションの必要性を学びます。	No.	日付	
就職現場など、公私ともに難聴や聞こえの悪い人と関わる機会が増えていくことを想定し、要約筆記の基礎を学び、筆談で通訳できるスキルを習得します。それと併せ、物事の要点をまとめる力をつけることで、ビジネスのスキルUPにもつなげます。	1	10/25	
	要約と筆談の違いとポイント 難聴者とのコミュニケーション方法		
2. 目標検定・資格	2	11/1	
	筆記の3原則		
	3		
受験対象	4	11/8	
	読みやすい表記		
実施日	5	11/15	
	話し言葉の要約		
3. 学習上の留意点	6	11/22	
	表記のポイント		
要約力を身につけることは、コミュニケーションの幅が広がるほか、社会人スキルの向上にもつながるので、積極的に実習に取り組むようにしましょう。ロールプレイングやディスカッションなども取り入れていきます。	7	11/29	
	筆記通訳体験		
4. テキスト	8	12/6	
	筆記通訳体験		
プリント	9	12/13	
	筆記通訳体験		
5. 成績評価の方法・基準	10	12/13	
	筆記通訳体験		
出席率80%以上必須	11	12/13	
	まとめ、実習		
・現場を想定したコミュニケーションおよび筆談ができるレベルに到達させる。 ・授業態度、実習内容等により総合的に評価する。	12	12/13	
	まとめ、実習		
	13		
	14		
	15		
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	健康管理学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火3・木1・2	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>過度なストレス、食生活の乱れ、運動不足等が原因となる生活習慣病の多様化や、高齢化の進行が医療費の増加を招き、大きな社会問題になっています。そのため、地域や企業、家庭において健康管理の知識と意識を言及し、健康を守る大切さが見直されています。</p> <p>人生100年時代も想定し、「予防医学のスペシャリスト」として、健康管理に関する正しい知識を習得します。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/28	健康管理学①
	2	10/5	健康管理学②
	3	10/12	生活習慣病の基礎知識①
	4	10/19	生活習慣病の基礎知識②
	5	10/26	生活習慣病の基礎知識③
	6	11/2	生活習慣病の基礎知識④
	7	11/9	心の健康管理①
	8	11/16	心の健康管理②
	9	11/16	心の健康管理③
	10	11/30	生活環境と健康①
	11	11/30	生活環境と健康②
	12	11/30	生活環境と健康③
	13	12/7	身体を守る健康知識①
	14	12/7	身体を守る健康知識②
15	12/14	まとめ	
2. 目標検定・資格	受験対象		
実施日			
3. 学習上の留意点	自分自身や家族の生活を振り返り、将来を見据えた提案や行動にもつなげていきますので、幅広い視点から建設的な態度で取り組んでください。		
4. テキスト	プリント		
5. 成績評価の方法・基準	出席率80%以上必須		
	・授業態度、実習内容・レポート等により総合的に評価する。		
	評価	試験	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	<b>登録販売者総論Ⅱ</b>		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	後期	金2・3	405
担当者	<b>島田 渉</b>		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講演	4
実務経験のある教員による授業内容	医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、登録販売者総論ほかについて教育を行う科目。					
1. 講義の概要と目的			6. 講義計画(シラバス)			
<p>・2年間の医薬品や登録販売者の学習のまとめとして、お客様や身近な人にも医薬品の説明や健康アドバイスができるよう必要とされる知識を深めていき生涯の知識とする。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>登録販売者試験</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>医薬品に関する情報提供、相談対応における実践的なイメージを常に持ち続けて下さい。 反復学習は必ず実施して下さい。 総得点84点以上で合格ですが、各項目毎に一定割合以下(35%)の場合は不合格になってしまいます。苦手科目をつくらずに学習していきましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>登録販売者研修テキスト 登録販売者問題集</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする。</p>			No.	日付	授業内容	
			1	9/8	第1回模擬試験(解説)	問1～問60
			2	9/15	" (解説)	問61～問120
			3	9/22	第2回模擬試験(解説)	問1～問60
			4	9/29	" (解説)	問61～問120
			5	10/6	第3回模擬試験(解説)	問1～問60
			6	10/20	" (解説)	問61～問120
			7	10/27	第4回模擬試験(解説)	問1～問60
			8	11/10	" (解説)	問61～問120
			9	11/17	第5回模擬試験(解説)	問1～問60
			10	11/24	" (解説)	問61～問120
			11	12/1	第6回模擬試験 (解説)	問1～問60
			12	12/8	" (解説)	問61～問120
			13	12/15	第7回模擬試験 (解説)	問1～問60
			14	1/9 (火)	" (解説)	問61～問120
15	1/12	まとめ				
			評価			
			試験			